

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-工-A-03-0007_改0
提出年月日	2022年7月22日

工事計画に係る説明資料

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備

(2.4.2 燃料プール代替注水系)

(本文)

2022年7月

東北電力株式会社

申請範囲目録

- 2. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設
 - 2.4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備
 - 2.4.2 燃料プール代替注水系
 - (8) 主配管(スプレイヘッドを含む。)(可搬型)

2. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設

2.4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備

2.4.2 燃料プール代替注水系

(8) 主配管(スプレイヘッドを含む。)(可搬型)

変更前								変更後							
名称	*1 最高 使用 圧力 (MPa)	*1 最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	*1 最高 使用 圧力 (MPa)	*1 最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
燃料 プール 代替注 水系	*2 取水用ホース (250A : 5m, 10m, 20m)	1.4	50	250A *3	—*4 ポリエス テル, ポ リウレタ ン	*5 36 (予備 3)	保管場所： ・第1保管エリア 屋外 O.P. 約62 m ・第2保管エリア 屋外 O.P. 約62 m ・第3保管エリア 屋外 O.P. 約14.8 m ・第4保管エリア 屋外 O.P. 約62 m 予備を含めた39本を第1保管エ リアに12本、第2保管エリアに 12本、第3保管エリアに12本及 び第4保管エリアに3本保管す る。 取付箇所： 〔 ・屋外 O.P. 約62 m 淡水貯水 槽 (No. 1) 及び淡水貯水槽 (No. 2)～屋外 O.P. 約62 m 大容量送水ポンプ(タイプ I) (4本*6) ・屋外 O.P. 約3.5 m 取水口 又は屋外 O.P. 約14.8 m 海 水ポンプ室～屋外 O.P. 約 3.5 m又は 屋外 O.P. 約 14.8 m 大容量送水ポンプ (タイプ I) (6本*7, *8) ・屋外 O.P. 約3.5 m 取水口 又は屋外 O.P. 約14.8 m 海 水ポンプ室～屋外 O.P. 約 3.5 m又は屋外 O.P. 約14.8 m 大容量送水ポンプ(タイ プ II) (6本*9, *10) 〕	燃料 プー ル代 替注 水系							変更なし

変 更 前								変 更 後							
名 称	*1 最 高 使 用 圧 力 (MPa)	*1 最 高 使 用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取 付 箇 所	名 称	*1 最 高 使 用 圧 力 (MPa)	*1 最 高 使 用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	個 数	取 付 箇 所
燃料 プ ー ル 代 替 注 水 系	*2 送 水 用 ホ ー ス (300A : 2m, 5m, 10m, 20m, 50m)	1.4	50	300A *3	—*4 ポ リ エ ス テ ル, ポ リ ウ レ タ ン	*11 217 (予 備 5)	保管場所： ・第1保管エリア 屋外 O.P.約62 m ・第2保管エリア 屋外 O.P.約62 m ・第3保管エリア 屋外 O.P.約14.8 m ・第4保管エリア 屋外 O.P.約62 m 予備を含めた222本を第1保管エリアに 71本、第2保管エリアに72本、第3保管 エリアに74本及び第4保管エリアに5本 保管する。 取付箇所： ・屋外 O.P.約3.5 m若しくは屋外O.P. 約14.8 m 又は 屋外 O.P.約62 m 大 容量送水ポンプ(タイプI)～屋外 O.P.約14.8 m 注水用ヘッド (33本*12, *13) ・屋外 O.P.約3.5 m又は屋外 O.P.約 14.8 m 大容量送水ポンプ(タイプ II)～屋外 O.P.約62 m 淡水貯水槽 (No.1)及び淡水貯水槽(No.2) (33本*14, *15) ・屋外 O.P.約3.5 m又は屋外 O.P.約 14.8 m 大容量送水ポンプ(タイプ I)～屋外 O.P.約14.8 m 原子炉補 機代替冷却水系熱交換器ユニット (北側設置)又は(西側設置) (28本*16, *17) ・屋外 O.P.約14.8 m 原子炉補機代替 冷却水系熱交換器ユニット(北側設 置)又は(西側設置)～放水槽 (6本*16, *18) ・屋外 O.P.約3.5 m又は屋外 O.P.約 14.8 m 大容量送水ポンプ(タイプ II)～屋外 O.P.約14.8 m 放水砲又 は屋外 O.P.約14.8 m 泡消火薬剤混 合装置 (31本*19, *20) ・屋外 O.P.約14.8 m 泡消火薬剤 混合装置～屋外 O.P.約14.8 m 放水砲 (1本*21)	燃料 プ ー ル 代 替 注 水 系	*2	1.4	50	300A *3	—*4 ポ リ エ ス テ ル, ポ リ ウ レ タ ン	*11 229 (予 備 5)	保管場所： ・第1保管エリア 屋外 O.P.約62 m ・第2保管エリア 屋外 O.P.約62 m ・第3保管エリア 屋外 O.P.約14.8 m ・第4保管エリア 屋外 O.P.約62 m 予備を含めた234本を第1保管エリアに74 本、第2保管エリアに75本、第3保管エリ アに80本及び第4保管エリアに5本保管す る。 取付箇所： ・屋外 O.P.約3.5 m若しくは屋外O.P. 約14.8 m 又は 屋外 O.P.約62 m 大 容量送水ポンプ(タイプI)～屋外 O.P.約14.8 m 注水用ヘッド (37本*12, *13) ・屋外 O.P.約3.5 m又は屋外 O.P.約 14.8 m 大容量送水ポンプ(タイプII) ～屋外 O.P.約62 m 淡水貯水槽 (No.1)及び淡水貯水槽(No.2) (33本*14, *15) ・屋外 O.P.約3.5 m又は屋外 O.P.約 14.8 m 大容量送水ポンプ(タイプI) ～屋外 O.P.約14.8 m 原子炉補機代 替冷却水系熱交換器ユニット(北側設 置)又は(西側設置) (24本*16, *17) ・屋外 O.P.約14.8 m 原子炉補機代替 冷却水系熱交換器ユニット(北側設 置)又は(西側設置)～放水槽 (11本*16, *18) ・屋外 O.P.約3.5 m又は屋外 O.P.約 14.8 m 大容量送水ポンプ(タイプII) ～屋外 O.P.約14.8 m 放水砲又は屋 外 O.P.約14.8 m 泡消火薬剤混合装 置 (31本*19, *20) ・屋外 O.P.約14.8 m 泡消火薬剤 混合装置～屋外 O.P.約14.8 m 放水砲 (1本*21)

変更前								変更後								
名称	*1 最高 使用 圧力 (MPa)	*1 最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	*1 最高 使用 圧力 (MPa)	*1 最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	
燃料プール代替注水系	*22 注水用 ヘッド	1.4	50	318.5*23	(10.3*23)	SUS 304	2 (予備 1)	保管場所： ・第2保管エリア 屋外 O.P. 約62 m ・第3保管エリア 屋外 O.P. 約14.8 m ・第4保管エリア 屋外 O.P. 約62 m 予備を含めた3個を第2保管エリアに1個、第3保管エリアに1個及び第4保管エリアに1個保管する。 取付箇所： ・屋外 O.P. 約14.8 m 原子炉建屋(北側)付近 ・屋外 O.P. 約14.8 m 原子炉建屋(東側)付近 ・屋外 O.P. 約14.8 m 原子炉建屋(西側)付近	燃料プール代替注水系	1.4	50	165.2*23	(7.1*23)	SUS 304	変更なし	
				76.3*23	(5.2*23)	SUS 304										
燃料プール代替注水系	*24 送水用 ホース (150A : 1m, 2m, 5m, 10m, 20m)	1.6	50	150A*3	—*4	ポリエス テル、 ポリウレ タン	*25 137 (予備 5)	保管場所： ・第2保管エリア 屋外 O.P. 約62 m ・第3保管エリア 屋外 O.P. 約14.8 m ・第4保管エリア 屋外 O.P. 約62 m ・原子炉建屋原子炉棟 O.P. 15.00 m ・原子炉建屋原子炉棟 O.P. 31.40 m ・原子炉建屋原子炉棟 O.P. 33.20 m 予備を含めた142本を第2保管エリアに33本、第3保管エリアに22本、第4保管エリアに5本、原子炉建屋原子炉棟 O.P. 15.00 mに60本、原子炉建屋原子炉棟 O.P. 31.40 mに11本及び原子炉建屋原子炉棟 O.P. 33.20 mに11本保管する。 取付箇所： ・屋外 O.P. 約14.8 m 注水用ヘッド～屋外 O.P. 約14.8 m 燃料プール注水接続口(北)若しくは屋外 O.P. 約14.8 m 燃料プール注水接続口(東)又は原子炉建屋原子炉棟(3本*26、*27) ・原子炉建屋原子炉棟～燃料プール注水接続口(屋内)(10本*26)	燃料プール代替注水系	1.6	50	150A*3	—*4	ポリエス テル、 ポリウレ タン	*25 145 (予備 5)	保管場所： ・第2保管エリア 屋外 O.P. 約62 m ・第3保管エリア 屋外 O.P. 約14.8 m ・第4保管エリア 屋外 O.P. 約62 m ・原子炉建屋原子炉棟 O.P. 15.00 m ・原子炉建屋原子炉棟 O.P. 31.40 m ・原子炉建屋原子炉棟 O.P. 33.20 m 予備を含めた150本を第2保管エリアに41本、第3保管エリアに22本、第4保管エリアに5本、原子炉建屋原子炉棟 O.P. 15.00 mに60本、原子炉建屋原子炉棟 O.P. 31.40 mに11本及び原子炉建屋原子炉棟 O.P. 33.20 mに11本保管する。 取付箇所： ・屋外 O.P. 約14.8 m 注水用ヘッド～屋外 O.P. 約14.8 m 燃料プール注水接続口(北)若しくは屋外 O.P. 約14.8 m 燃料プール注水接続口(東)又は原子炉建屋原子炉棟(3本*26、*27) ・原子炉建屋原子炉棟～燃料プール注水接続口(屋内)(10本*26)

変更前							変更後								
名称	*1 最高 使用 圧力 (MPa)	*1 最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料	個数	取付箇所	名称	*1 最高 使用 圧力 (MPa)	*1 最高 使用 温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料	個数	取付箇所
燃料 プール 代替 注水系	(前頁からの続き)						<ul style="list-style-type: none"> 屋外 O.P. 約14.8 m 注水用ヘッダ～使用済燃料プール(10本*²⁶, *²⁸) ・屋外 O.P. 約14.8 m 注水用ヘッダ～クロスデバイザー管(15本*²⁹, *³⁰) ・屋外 O.P. 約14.8 m 注水用ヘッダ～屋外 O.P. 約14.8 m 燃料プールのスプレイ接続口(北)若しくは屋外 O.P. 約14.8 m 燃料プールのスプレイ接続口(東)又は原子炉建屋原子炉棟(3本*²⁷, *²⁹) ・原子炉建屋原子炉棟～燃料プールのスプレイ接続口(屋内)(10本*²⁹) ・屋外 O.P. 約14.8 m 注水用ヘッダ～屋外 O.P. 約14.8 m 原子炉・格納容器下部注水接続口(北)若しくは屋外 O.P. 約14.8 m 原子炉・格納容器下部注水接続口(東)又は原子炉建屋原子炉棟(3本*²⁷, *³¹) ・原子炉建屋原子炉棟～原子炉・格納容器下部注水接続口(屋内)(10本*³¹) ・屋外 O.P. 約14.8 m 注水用ヘッダ～屋外 O.P. 約14.8 m 復水貯蔵タンク接続口(10本*³², *³³) ・屋外 O.P. 約14.8 m 注水用ヘッダ～屋外 O.P. 約14.8 m 格納容器スプレイ接続口(北)若しくは屋外 O.P. 約14.8 m 格納容器スプレイ接続口(東)又は原子炉建屋原子炉棟(3本*²⁷, *³⁴) ・原子炉建屋原子炉棟～格納容器スプレイ接続口(屋内)(10本*³⁴) 	燃料 プール 代替 注水系	(前頁からの続き)						<ul style="list-style-type: none"> ・屋外 O.P. 約14.8 m 注水用ヘッダ～使用済燃料プール(10本*²⁶, *²⁸) ・屋外 O.P. 約14.8 m 注水用ヘッダ～クロスデバイザー管(15本*²⁹, *³⁰) ・屋外 O.P. 約14.8 m 注水用ヘッダ～屋外 O.P. 約14.8 m 燃料プールのスプレイ接続口(北)若しくは屋外 O.P. 約14.8 m 燃料プールのスプレイ接続口(東)又は原子炉建屋原子炉棟(3本*²⁷, *²⁹) ・原子炉建屋原子炉棟～燃料プールのスプレイ接続口(屋内)(10本*²⁹) ・屋外 O.P. 約14.8 m 注水用ヘッダ～屋外 O.P. 約14.8 m 原子炉・格納容器下部注水接続口(北)若しくは屋外 O.P. 約14.8 m 原子炉・格納容器下部注水接続口(東)又は原子炉建屋原子炉棟(3本*²⁷, *³¹) ・原子炉建屋原子炉棟～原子炉・格納容器下部注水接続口(屋内)(10本*³¹) ・屋外 O.P. 約14.8 m 注水用ヘッダ～屋外 O.P. 約14.8 m 復水貯蔵タンク接続口(19本*³², *³³) ・屋外 O.P. 約14.8 m 注水用ヘッダ～屋外 O.P. 約14.8 m 格納容器スプレイ接続口(北)若しくは屋外 O.P. 約14.8 m 格納容器スプレイ接続口(東)又は原子炉建屋原子炉棟(3本*²⁷, *³⁴) ・原子炉建屋原子炉棟～格納容器スプレイ接続口(屋内)(10本*³⁴)

変 更 前	変 更 後
<p>注記*1：重大事故等時における使用時の値。</p> <p>*2：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系，放射性物質拡散抑制系)，原子炉冷却系系統施設のうち残留熱除去設備(原子炉格納容器フィルタベント系)，非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系，代替水源移送系)及び原子炉補機冷却設備(原子炉補機代替冷却水系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系，原子炉格納容器代替スプレイ冷却系，低圧代替注水系)，放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(放射性物質拡散抑制系，放射性物質拡散抑制系(航空機燃料火災への泡消火)，原子炉格納容器フィルタベント系)及び圧力逃がし装置(原子炉格納容器フィルタベント系)と兼用する。</p> <p>*3：メーカーにて規定する呼び径を示す。</p> <p>*4：メーカー仕様によるものとし，完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって，使用材料の特性を踏まえた上で，重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。</p> <p>*5：必要本数36本(5m：12本，10m：12本，20m：12本)に予備各1本の数量を示す。</p> <p>*6：本系統及び使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系)，原子炉冷却系系統施設のうち残留熱除去設備(原子炉格納容器フィルタベント系)及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系，代替水源移送系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系，原子炉格納容器代替スプレイ冷却系，低圧代替注水系)，放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(原子炉格納容器フィルタベント系)及び圧力逃がし装置(原子炉格納容器フィルタベント系)で使用する場合を示す。</p> <p>*7：本系統及び使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系)，原子炉冷却系系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系，代替水源移送系)及び原子炉補機冷却設備(原子炉補機代替冷却水系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系，原子炉格納容器代替スプレイ冷却系，低圧代替注水系)で使用する場合を示す。</p> <p>*8：最長ルートである「海水ポンプ室～大容量送水ポンプ(タイプⅠ)」に敷設した場合(5m：2本，10m：2本，20m：2本)の数量を示す。</p> <p>*9：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(放射性物質拡散抑制系)並びに原子炉冷却系系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(代替水源移送系)及び放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(放射性物質拡散抑制系，放射性物質拡散抑制系(航空機燃料火災への泡消火))で使用する場合を示す。</p> <p>*10：最長ルートである「海水ポンプ室～大容量送水ポンプ(タイプⅡ)」に敷設した場合(5m：2本，10m：2本，20m：2本)の数量を示す。</p> <p>*11：必要本数217本(2m：6本，5m：7本，10m：6本，20m：14本，50m：184本)に予備各1本の数量を示す。</p> <p>*12：本系統及び使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系)，原子炉冷却系系統施設のうち残留熱除去設備(原子炉格納容器フィルタベント系)及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系，代替水源移送系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系，原子炉格納容器代替スプレイ冷却系，低圧代替注水系)，放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(原子炉格納容器フィルタベント系)及び圧力逃がし装置(原子炉格納容器フィルタベント系)で使用する場合を示す。</p> <p>*13：最長ルートである「屋外 O.P.約62 m大容量送水ポンプ(タイプⅠ)～注水用ヘッダ(東側設置)」に敷設した場合(20m：1本，50m：32本)の数量を示す。</p> <p>*14：原子炉冷却系系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(代替水源移送系)で使用する場合を示す。</p> <p>*15：最長ルートである「屋外 O.P.約14.8 m大容量送水ポンプ(タイプⅡ)～淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)」に敷設した場合(2m：1本，50m：32本)の数量を示す。</p>	<p>注記*1：重大事故等時における使用時の値。</p> <p>*2：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系，放射性物質拡散抑制系)，原子炉冷却系系統施設のうち残留熱除去設備(原子炉格納容器フィルタベント系)，非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系，代替水源移送系)及び原子炉補機冷却設備(原子炉補機代替冷却水系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系，原子炉格納容器代替スプレイ冷却系，低圧代替注水系)，放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(放射性物質拡散抑制系，放射性物質拡散抑制系(航空機燃料火災への泡消火)，原子炉格納容器フィルタベント系)及び圧力逃がし装置(原子炉格納容器フィルタベント系)と兼用する。</p> <p>*3：メーカーにて規定する呼び径を示す。</p> <p>*4：メーカー仕様によるものとし，完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって，使用材料の特性を踏まえた上で，重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。</p> <p>*5：必要本数36本(5m：12本，10m：12本，20m：12本)に予備各1本の数量を示す。</p> <p>*6：本系統及び使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系)，原子炉冷却系系統施設のうち残留熱除去設備(原子炉格納容器フィルタベント系)及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系，代替水源移送系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系，原子炉格納容器代替スプレイ冷却系，低圧代替注水系)，放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(原子炉格納容器フィルタベント系)及び圧力逃がし装置(原子炉格納容器フィルタベント系)で使用する場合を示す。</p> <p>*7：本系統及び使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系)，原子炉冷却系系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系，代替水源移送系)及び原子炉補機冷却設備(原子炉補機代替冷却水系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系，原子炉格納容器代替スプレイ冷却系，低圧代替注水系)で使用する場合を示す。</p> <p>*8：最長ルートである「海水ポンプ室～大容量送水ポンプ(タイプⅠ)」に敷設した場合(5m：2本，10m：2本，20m：2本)の数量を示す。</p> <p>*9：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(放射性物質拡散抑制系)並びに原子炉冷却系系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(代替水源移送系)及び放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(放射性物質拡散抑制系，放射性物質拡散抑制系(航空機燃料火災への泡消火))で使用する場合を示す。</p> <p>*10：最長ルートである「海水ポンプ室～大容量送水ポンプ(タイプⅡ)」に敷設した場合(5m：2本，10m：2本，20m：2本)の数量を示す。</p> <p>*11：必要本数229本(2m：6本，5m：7本，10m：8本，20m：14本，50m：194本)に予備各1本の数量を示す。</p> <p>*12：本系統及び使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系)，原子炉冷却系系統施設のうち残留熱除去設備(原子炉格納容器フィルタベント系)及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系，代替水源移送系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系，原子炉格納容器代替スプレイ冷却系，低圧代替注水系)，放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(原子炉格納容器フィルタベント系)及び圧力逃がし装置(原子炉格納容器フィルタベント系)で使用する場合を示す。</p> <p>*13：最長ルートである「屋外 O.P.約62 m大容量送水ポンプ(タイプⅠ)～注水用ヘッダ(西側設置)」に敷設した場合(10m：1本，20m：1本，50m：35本)の数量を示す。</p> <p>*14：原子炉冷却系系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(代替水源移送系)で使用する場合を示す。</p> <p>*15：最長ルートである「屋外 O.P.約14.8 m大容量送水ポンプ(タイプⅡ)～淡水貯水槽(No.1)及び淡水貯水槽(No.2)」に敷設した場合(2m：1本，50m：32本)の数量を示す。</p>

(次頁へ続く)

(前頁からの続き)

変 更 前	変 更 後
<p>*16：原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機代替冷却水系)で使用する場合を示す。</p> <p>*17：最長ルートである「屋外 O.P.約3.5 m大容量送水ポンプ(タイプⅠ)～原子炉補機代替冷却水系熱交換器ユニット(北側設置)」に敷設した場合(5 m：1 本, 10 m：1 本, 50 m：26 本)の数量を示す。</p> <p>*18：最長ルートである「原子炉補機代替冷却水系熱交換器ユニット(西側設置)～放水槽」に敷設した場合(20 m：2 本, 50 m：4 本)の数量を示す。</p> <p>*19：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(放射性物質拡散抑制系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(放射性物質拡散抑制系, 放射性物質拡散抑制系(航空機燃料火災への泡消火))で使用する場合を示す。</p> <p>*20：最長ルートである「屋外 O.P.約3.5 m大容量送水ポンプ(タイプⅡ)～放水砲」に敷設した場合(5 m：1 本, 20 m：2 本, 50 m：28 本)の数量を示す。</p> <p>*21：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(放射性物質拡散抑制系(航空機燃料火災への泡消火))で使用する場合を示す。</p> <p>*22：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系), 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備(原子炉格納容器フィルタベント系)及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系, 代替水源移送系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系, 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系, 低圧代替注水系), 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(原子炉格納容器フィルタベント系)及び圧力逃がし装置(原子炉格納容器フィルタベント系)と兼用する。</p> <p>*23：公称値を示す。</p> <p>*24：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系), 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系, 代替水源移送系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系, 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系, 低圧代替注水系)と兼用する。</p> <p>*25：必要本数137 本(1 m：6 本, 2 m：10 本, 5 m：21 本, 10 m：21 本, 20 m：79 本)に予備各5 本の数量を示す。</p> <p>*26：本系統で使用する場合を示す。</p> <p>*27：最長ルートである「注水用ヘッダ～原子炉建屋原子炉棟」に敷設した場合(20 m：3 本)の数量を示す。</p> <p>*28：最長ルートである「注水用ヘッダ(東側設置)～使用済燃料プール」に敷設した場合(5 m：3 本, 10 m：1 本, 20 m：6 本)の数量を示す。</p> <p>*29：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系)で使用する場合を示す。</p> <p>*30：最長ルートである「注水用ヘッダ(東側設置)～クロスバイザー管」に敷設した場合(2 m：2 本, 5 m：4 本, 10 m：3 本, 20 m：6 本)の数量を示す。</p> <p>*31：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系, 低圧代替注水系)で使用する場合を示す。</p> <p>*32：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(代替水源移送系)で使用する場合を示す。</p> <p>*33：最長ルートである「注水用ヘッダ(西側設置)～復水貯蔵タンク」に敷設した場合(5 m：1 本, 20 m：9 本)の数量を示す。</p> <p>*34：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器代替スプレイ冷却系)で使用する場合を示す。</p>	<p>*16：原子炉冷却系統施設のうち原子炉補機代替冷却水系)で使用する場合を示す。</p> <p>*17：最長ルートである「屋外 O.P.約3.5 m大容量送水ポンプ(タイプⅠ)～原子炉補機代替冷却水系熱交換器ユニット(西側設置)」に敷設した場合(5 m：1 本, 50 m：23 本)の数量を示す。</p> <p>*18：最長ルートである「原子炉補機代替冷却水系熱交換器ユニット(西側設置)～放水槽」に敷設した場合(5m：1 本, 10 m：1 本, 50 m：9 本)の数量を示す。</p> <p>*19：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(放射性物質拡散抑制系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(放射性物質拡散抑制系, 放射性物質拡散抑制系(航空機燃料火災への泡消火))で使用する場合を示す。</p> <p>*20：最長ルートである「屋外 O.P.約3.5 m大容量送水ポンプ(タイプⅡ)～放水砲」に敷設した場合(5 m：1 本, 20 m：2 本, 50 m：28 本)の数量を示す。</p> <p>*21：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(放射性物質拡散抑制系(航空機燃料火災への泡消火))で使用する場合を示す。</p> <p>*22：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系), 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備(原子炉格納容器フィルタベント系)及び非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系, 代替水源移送系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系, 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系, 低圧代替注水系), 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(原子炉格納容器フィルタベント系)及び圧力逃がし装置(原子炉格納容器フィルタベント系)と兼用する。</p> <p>*23：公称値を示す。</p> <p>*24：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系), 原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系, 代替水源移送系)並びに原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系, 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系, 低圧代替注水系)と兼用する。</p> <p>*25：必要本数145 本(1 m：6 本, 2 m：10 本, 5 m：21 本, 10 m：21 本, 20 m：87 本)に予備各1 本の数量を示す。</p> <p>*26：本系統で使用する場合を示す。</p> <p>*27：最長ルートである「注水用ヘッダ～原子炉建屋原子炉棟」に敷設した場合(20 m：3 本)の数量を示す。</p> <p>*28：最長ルートである「注水用ヘッダ(東側設置)～使用済燃料プール」に敷設した場合(5 m：3 本, 10 m：1 本, 20 m：6 本)の数量を示す。</p> <p>*29：使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールスプレイ系)で使用する場合を示す。</p> <p>*30：最長ルートである「注水用ヘッダ(東側設置)～クロスバイザー管」に敷設した場合(2 m：2 本, 5 m：4 本, 10 m：3 本, 20 m：6 本)の数量を示す。</p> <p>*31：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(低圧代替注水系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器下部注水系, 低圧代替注水系)で使用する場合を示す。</p> <p>*32：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(代替水源移送系)で使用する場合を示す。</p> <p>*33：最長ルートである「注水用ヘッダ(西側設置)～復水貯蔵タンク」に敷設した場合(5 m：1 本, 10 m：1 本, 20 m：17 本)の数量を示す。</p> <p>*34：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(原子炉格納容器代替スプレイ冷却系)で使用する場合を示す。</p>